商工会補助金　5,890 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

商工業の振興と地域経済の安定を目的に指導的役割を担う商工会に対して、経営改善普及事業や地域総合振興事業、商工会管理運営経費の一部を補助します。

主な事業

○経営改善普及事業　4,120万円

商工会が行う小規模事業者の技術改善等の指導事業等に要する経費の一部を補助。

○地域総合振興事業　1,770万円

商工会が行う商工業の振興及び安定を図るための事業に要する経費の一部を補助。

福野のごっつお里いもまつり

中小企業融資制度等　7億7,800 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

市内の中小企業者に必要な事業資金について指定金融機関と協調融資を行うと共に、保証料の助成を行い、商工業の振興や地域経済の活性化を推進します。

主な事業

○中小企業振興保証料助成　2,620万円

市内中小企業者が、市の融資制度等を利用した場合に信用保証料の一部を助成します。

○マル経融資利子補給金　280万円

市内小規模事業者が経営改善資金としてマル経融資制度を利用した場合の利子の一部を助成。

○県小口事業資金、中小企業融資資金等預託金　7億,700万円

市内の中小企業者の必要な事業資金について、市融資制度を利用する場合に指定金融機関と協調融資（指定金融機関が、自己資金に市の預託金を合わせて融資）を行い、有利な融資制度を推進します。

○勤労者融資対策費　4,200万円

市内の勤労者の必要な資金について、北陸労働金庫等と協調融資を行います。

財源

その他（元利収入）	7億4,922 万円
市の負担額	2,878 万円

商工施設管理委託料　5,454 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

市の商工関連施設について、指定管理制度により管理委託を実施します。

主な施設

- 福光会館（ふくみつ光房）　７６８万円
- 井波彫刻伝統産業会館　２０４万円
  （南砺市シルバー人材センター）
- 井波彫刻総合会館　1,６２０万円
  （井波彫刻協同組合）
- 五箇山和紙工芸研究館　９６０万円
  （五箇山和紙工芸研究協会）
- 起業家支援センター(NPO創藝)　３９７万円
- 城端織物会館「織館」　８６０万円
  （南砺市商工会）
- 井波物産展示館　９５万円
  （南砺市観光協会井波支部）
- 井波商業観光施設「よいとこ井波」
  （まちづくり井波）　５５０万円

城端織物会館「織館」

井波商業観光施設「よいとこ井波」

雇用支援事業　3,660 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

【震災等緊急雇用対応事業】

東日本大震災等の影響による失業者について次の雇用までの短期雇用・就業機会のを創出、又は地域の企業等で就業するために必要な知識・技術を習得させ、市内企業の雇用の確保に努める交付金事業。再就職者の人件費や研修費等を企業に委託費として支援します。

○南砺市企業等人材育成事業　３，２６０万円

【就活・雇用促進事業】

市内企業等の優秀な人材確保やU・Iターン者等の増加を促進する目的で、市内の中小企業等に対して、企業採用情報掲載サイト登録料等の一部支援やサイト登録した学生に企業情報や合同説明会等の情報提供に係る経費の一部を支援。

○就活・雇用促進事業　４００万円

財源

国県補助金	3,260万円
市の負担額	400万円

空き店舗対策・起業家育成支援事業　1,430 万円

（担当:城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

【空き店舗対策支援事業】　1,200万円

都市計画法に規定する商業地域又は近隣商業地域に指定された地域内において、空き店舗等を活用し中心商店街の活性化を図る事業について支援します。

主な事業

○空き店舗等改装事業

商店街組合等の団体や個人が空き店舗を購入又は、賃貸借した場合で、店舗を改装する場合の経費の一部を支援します。（補助率；1/2以内　限度額；団体300万円、個人200万円）

○空き店舗等借上事業

商店街組合等の団体や個人が事業をするため空き店舗を賃貸借する場合の借上料の一部を支援します。（補助率；1/2以内　限度額；2.5万円/月（3年以内））

○店舗誘致事業

商店街組合等が空き店舗入居希望者を誘致し、商店街の活性化を推進した場合に奨励金を交付します。（限度額；10万円　1団体　1回/年）

【起業家育成支援事業】　230万円

市内で新規に事業を始めようとする起業家に対して、事業所等の開設費用等の必要な経費の一部を支援します。

○事業所等開設事業

事業所・設備購入費、改修費（ただし、50万円以上）（補助率；1/2以内　限度額；200万円）

○事業所等借上事業

事業所等の賃借料（補助率；1/2以内　限度額；2.5万円/月（3年以内））

○販売促進事業

広告宣伝等費用　（補助率；1/2以内　限度額；40万円）

井波地域　八日町通り

がんばる商店街支援事業　170 万円

（担当:城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

商店街を活性化するための創意と工夫を凝らした取組みに必要な経費を補助するものであり、県と連携して支援します。

主な事業

○商店街レシートでサポート事業　84万円

市内の商店街で買い物した場合のポイントを基に、事前に登録された青少年スポーツ団体等に寄付金として贈呈し、活動費等を支援します。

○その他事業　86万円

（補助率；県・市　1/3以内）

商店街レシートでサポート事業

元気なまちづくり関連事業　511 万円

（担当:城端庁舎　商工課　　問合せ先　23-2018）

元気で活力ある南砺市を目指すための施策である「なんと元気なまちづくり事業」のうち商工業関連の事業について支援します。

主な事業

○買物弱者対策支援モデル事業　　311万円

五箇山地域をモデル地域として、高齢者等の買物弱者の日常生活に必要な買物等について事業参加地元商店と宅配業者の協力により、買物代行宅配サービスを実施し、その経費の一部を支援します。

○ブライダル商品開発支援事業　　100万円

市内で利用されるブライダル商品等について、南砺市の地域資源等を活用した商品開発や新企画等について調査し、事業化を推進します。

○ビジネスマッチング等出展補助事業　100万円

市内中小企業者が、展示会や見本市、商談会等に出展する場合の会場費等を支援します。

（補助率；1/2以内　限度額；10万円）

展示会の様子

企業立地基本構想策定業務　90 万円

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　問合せ先　23-2017）

福光インターチェンジ周辺における企業の立地環境整備について、既存立地企業の今後の事業展開や、インターチェンジ周辺における諸条件の資料収集と現況分析を行い、企業誘致を推進する候補地を抽出するとともに、誘致に向けた課題や取組み工程等の基本構想を策定する。

福光IC周辺企業立地基本構想策定業務委託料
９０万円

企業立地推進事業　3,680 万円

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　　問合せ先　23-2017）

スマートインターチェンジの新設や北陸新幹線の開業など、交通の利便性の向上と災害の少ない地域性をアピールしながら、積極的な企業誘致活動を行っていきます。

また、企業が求める光ファイバーなどの超高速ネットワークの整備促進を図っていきます。

・企業立地PR用DVD制作業務委託料　１６０万円

・とやま企業立地セミナー開催経費負担金　２０万円

・光ファイバー通信網整備負担金　　3,５００万円

とやま企業立地セミナー会場

企業立地奨励事業等助成金　1億2,410 万円

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　問合せ先　23-2017）

地域産業の振興及び雇用機会の拡大を図っていくことを目的として、工場等を新規立地又は増設した場合に、南砺市企業立地振興条例に基づき助成します。

○企業立地奨励事業助成金　　９,５７５万円

工場等の立地のため、用地・建物・設備を取得した場合に助成が受けられます。

・対象業種　製造業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、情報提供サービス業、デザイン業
　　インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業など

・助成割合　新規立地の場合：投下固定資産額の　７．５％
　　増設の場合　　：投下固定資産額の　５．０％

○物流業務施設立地奨励事業助成金　２,４８５万円

倉庫、配送センターなど物流業務施設の立地のため、用地・建物・設備を取得した場合に助成が受けられます。

・対象業種　製造業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、小売業

・助成割合　新規立地の場合：投下固定資産額の　５．０％
　　増設の場合　　：投下固定資産額の　２．５％

○雇用創出事業助成金　　３５０万円

新規立地又は増設に伴って、南砺市民を新規雇用した場合に、一人につき２０万円の助成金が受けられます。

財源

国県支出金	3,040万円
市の負担額	9,370万円

※企業立地奨励事業助成金及び物流業務施設立地奨励事業助成金の新規立地の場合の助成割合と、雇用創出事業助成金の額は、条例及び規則の改正により平成２４年４月以降に操業を開始した工場等が対象となり、それより前に操業を開始した工場等は、従前の割合と額になります。

カターレ富山「南砺の日」事業　70 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

Ｊリーグ・カターレ富山のホームゲームの１試合を「南砺の日」として、南砺市から応援バスを運行し、カターレ富山を応援します。また、会場では南砺市の特産品販売や観光ＰＲを行い、南砺市への誘客を図ります。

カターレ富山南砺の日負担金　　７０万円

テレビ・ラジオ放送企画負担金　263 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

南砺市の観光スポットや最新の話題をはじめ、歴史や伝統文化、そこに携わる人々などを紹介する特別番組を制作し、県内外に南砺市を広く紹介します。

番組企画制作放送負担金　　263万円

PRアニメを活用した南砺市のイメージアップ事業　2,000 万円

（担当：城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

南砺市は「アニメの聖地」として注目されており、市をPRするオリジナルアニメーションを制作・活用します。市内限定の配信と、国内外の広いエリアへの配信を合わせて展開することにより、南砺市のイメージアップと誘客を進めます。

PRアニメーション製作委託料　　2,000万円

ディスカバー・ジャパン特集企画掲載負担金　430 万円

（担当：城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

日本の魅力、地域の魅力を再発見する雑誌「ディスカバー・ジャパン」に、ガイドブックには載らない、ありのままの南砺市を掲載します。普段どおりの何気ない南砺の風景・食・人を紹介することで、新しい旅の情報を求める本物志向の方をターゲットに誘客を図ります。

「ディスカバー・ジャパン」企画掲載負担金
４３０万円

富山市・南砺市・立山町シティプロモーション事業負担金　100 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

富山市・南砺市・立山町の３市町が連携して、東京で開催され注目を集めている「丸の内朝大学」を誘致します。地域振興をテーマに、東京側と富山側で講座を開講し、首都圏の若者の視点による地域起こしの提案や富山ファンの形成、地域資源（人・地域）の磨き上げを推進します。

シティプロモーション事業負担金　　１００万円

観光協会補助金　6,810 万円

（担当：城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

南砺市観光協会は、マーケティングやプロモーションによる誘客、旅行商品の開発、受け入れ態勢の強化など、南砺市の戦略的な観光振興を進めるため、平成２２年４月に市内の６協会が合併して一本化しました。民間団体として、スピード感と柔軟性を活かした事業展開を目指します。

事務局費　　４,１８５万円
事業費　　２,６２５万円
・南砺ブランド向上
・観光客誘客促進　　など

南砺里山博補助金　500 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

～古き良きニッポン　里山文化まるごと体験～をテーマに、南砺市全体を屋根のない博覧会場に見立てて、南砺の魅力ある自然、文化、産業資源を再発見、再構築、再整備し、中長期的な視点から育て、熟成させていく継続的なまちづくり事業です。

南砺里山博補助金　５００万円

イベント開催補助金　7,005 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

南砺市には、歴史と伝統のある祭りや個性と魅力にあふれたイベントが多数あります。これらを観光誘客や地域振興につなげるため、主催団体に補助金を交付して支援しています。

城端むぎや祭補助金	1,330万円
福光ねつおくり七夕祭り補助金	1,140万円
南砺菊まつり補助金	980万円
南砺利賀そば祭り補助金	870万円
南砺いのくち椿まつり補助金	510万円
四季の五箇山ほか12事業補助金	2,175万円

ふくみつ雪あかり

いなみ太子伝観光祭

歴史と文化が薫るまちづくり補助金　730 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

善徳寺を中心として栄えた城端は、歴史的な建物や路地、旧街道など寺内町（門前町）としての趣が残り、伝統芸能や伝統文化の保存活用も盛んに行われている地域です。また、商店街には、呉服店、和菓子店、履物店、和食処、仏壇店など、昔からの城端特有のお店が多くあります。この城端で「観光客を街中へ引き込む仕掛け」づくりを進め、多様なニーズに対応した幅広く深みのあるまちづくりを目指します。

事業費　７２５万円
　携帯情報端末による案内システム構築
事務費　5万円

城端むぎや祭り

善徳寺

財源

国県支出金	375　万円
市の負担額	355　万円

なんとＢ級グルメ事業補助金　390 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

「なんとB級グルメ選手権」で決定したグランプリや上位入賞メニューを、一体感のある真の南砺のグルメ商品として市内外へ発信し、南砺市をPRしていくために、普及活動団体の育成や専門家によるメニューのブラッシュアップを行います。

なんとＢ級グルメ事業補助金　３９０万円

コンベンション支援事業　300 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

南砺市内の文化・体育施設の有効利用や宿泊施設の活用を目指すとともに、南砺市を訪れた方々に南砺市の魅力に触れていただき、交流人口を拡大し、南砺ファンやリピーターの確保につなげるため、南砺市を主会場に開催される学会、大会、会議、合宿等のコンベンションの経費の一部を助成します。

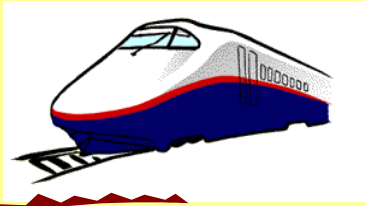
コンベンション支援補助金　３００万円

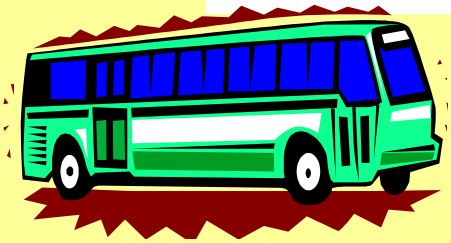
二次交通バス運行実証実験事業　708 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

平成２６年度の北陸新幹線開業を見据え、二次交通網の整備促進を図るため、金沢及び高山発着のツアーバスを実験運行します。また、高山と城端間を運行する２つの路線バスを1枚のきっぷで利用できる乗り継ぎきっぷを設定し、観光客のニーズを掘り起こし、動向を調査します。

バス運行実証実験事業負担金　６６８万円
路線バス乗り継ぎきっぷ事業負担金　４０万円





なんとツーリズムサポート事業　300 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

多様化する観光ニーズに幅広く柔軟に対応するため、民間のノウハウや機動性を活用します。南砺里山博を通じた着地型旅行商品の造成や、コンベンションの誘致など、観光協会や商工会等と連携して推進します。

なんとツーリズムサポート業務委託　300万円

城端線活性化協議会負担金　300 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

平成26年度の北陸新幹線開業を見据え、城端線沿線の自治体やＪＲ西日本が連携して、城端線の利便性向上や魅力アップ、周辺地域の情報発信を行い、新規利用者の増加や沿線地域の活性化を目指します。

協議会負担金　３００万円

なんと温泉ＰＲ事業　177 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市内に数多くある温泉と、食・ヘルス・スポーツ・産業観光等を連携した新たな企画開発、調査・研究を行い、インターネットやフリーペーパーによるＰＲを実施して誘客を図ります。

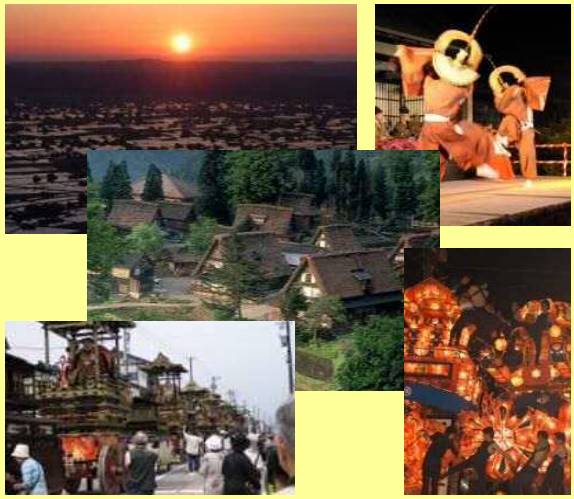
なんと温泉ＰＲ事業補助金　１７７万円

南砺市観光戦略マスタープラン策定事業　480 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

東海北陸自動車道の全線開通をはじめ、北陸新幹線の開業予定や南砺スマートインターチェンジ開設、越中飛騨観光圏等の広域連携など、観光を取り巻く環境が劇的に変化しています。これに対応するため、平成18年策定の観光マスタープランを見直し、観光戦略マスタープランとして、持続可能で実効性のある計画を策定します。

観光戦略マスタープラン策定業務　４８０万円



城端伝統芸能会館事業費　4,517 万円

（担当：城端伝統芸能会館　問合せ先　62-5050）

城端伝統芸能会館管理費　2,859 万円

城端伝統芸能会館「じょうはな座」は、伝統芸能の継承と、現代文化の創造を通して、まちの賑わいを育む多目的ホールです。城端の伝統的な町屋の様式や芝居小屋の意匠を、たくみに採り入れた施設は、風情あふれるまちなみと溶け合って、城端に新しい表情を描き出しています。

○ 維持管理に必要な経費

施設運営スタッフ経費、電気料等の維持経費、空調等の設備管理保守点検経費、清掃業務等委託料など

城端伝統芸能会館「じょうはな座」

財源

その他（使用料など）	1,090 万円
市の負担額	3,427 万円

城端伝統芸能会館自主事業費　1,658 万円

「じょうはな座」では、より多くの人々に感動の輪を広げていくために、住民参加による企画・運営の試みなど、観る人、演じる人の垣根を越えた新しい文化発信・文化創造に積極的にチャレンジしています。

○特色

当館のような小規模ホールでは公演の招致が難しく、都市部の大ホールでしか観ることのできなかった人気演目や大掛かりな舞台を、デジタル映像として実演に匹敵する臨場感を再現でき、多種多様な演目の上映が可能となっています。（名画・歌舞伎・アニメなど）

ホール収容客数　４００　席

○平成２４年度自主事業の予定

4月～11月(月2回)　庵唄・むぎや踊りの定期公演
5月～ 3月(6回)　「じょうはな名画座」上映
7月29日(日)　山崎バニラ活弁公演
11月15日(木)　「長唄と笛の演奏会」
日程未定　「ゲゲゲの鬼太郎」人形劇公演
年間（２回）　シネマ歌舞伎（弁当付き）上映

スキー場管理費　3億4,607 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有するスキー場施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、たいらスキー場、タカンボースキー場、スノーバレー利賀スキー場、閑乗寺スキー場、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場の5箇所のスキー場の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。平成２４年度は、タカンボースキー場圧雪車修繕、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場仮設排水管敷設替え測量設計業務委託、スノーバレー利賀スキー場山腹法面・谷筋水路災害復旧工事、たいらスキー場第１リフト握索機更新工事、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場第１調整池排水施設下法面等治山工事、閑乗寺公園ログハウス屋根修繕工事を行います。また、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場において圧雪車１台の更新と指定管理者の建物資産に係る長期借入償還金に対して補助を行い、スキー場の経営統合に向けた条件整備を行います。

主な経費

タカンボースキー場圧雪車等修繕料	３９０万円
たいらスキー場指定管理料（株式会社長田組）	3,４００万円
タカンボースキー場指定管理料（上平観光開発株式会社）	1,０００万円
スノーバレー利賀スキー場指定管理料（財団法人利賀ふるさと財団）	4,０６０万円
閑乗寺公園・スキー場指定管理料（医王アローザ株式会社）	1,５１７万円
IOX-AROSAスキー場指定管理料（医王アローザ株式会社）	9,４００万円

財源

起債	8,650 万円
その他（施設使用料など）	80 万円
市の負担額	2億5,877 万円

スキー場管理事務費	２万円
IOX-AROSAスキー場仮設排水管敷設替え測量設計業務委託	７８０万円
スノーバレー利賀スキー場山腹法面・谷筋水路災害復旧工事	2,１４０万円
たいらスキー場第１リフト握索機更新工事	７７９万円
IOX-AROSAスキー場第１調整池排水施設下法面等治山工事	4,３８０万円
閑乗寺公園ログハウス屋根修繕工事	１８０万円
IOX-AROSAスキー場圧雪車更新購入	4,０００万円
スキー場及び広告看板土地賃借料	５７９万円
IOX-AROSAスキー場施設長期借入償還補助金	2,０００万円

温泉施設管理費　6,516 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有し、市民や観光される方々が利用される宿泊施設等を併設する温泉施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、桜ヶ池クアガーデン、天竺温泉の郷、ぬく森の郷の３箇所温泉施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

また、周辺施設等に温泉を供給している福光温泉及びアローザ温泉の源泉井戸２箇所の維持・管理を行っています。平成２４年度は、天竺温泉源泉ポンプ・ケーブル等入替工事及び渡り廊下屋根修繕工事、ぬく森の郷受付・レストラン空調機器更新及び排水ポンプアップ水槽修繕工事、桜ケ池クアガーデン男女脱衣室床改修及びエレベーターロープ取替工事などを行います。

主な経費

アローザ温泉源泉光熱水費	６３万円
温泉施設修繕料（施設及び源泉施設）	７０万円
福光温泉源泉管理業務委託	８４万円
アローザ温泉源泉管理委託	５１万円
桜ヶ池クアガーデン指定管理料（株式会社ジェイウイング）	2,４００万円
天竺温泉の郷指定管理料（財団法人利賀ふるさと財団）	2,３６０万円
ぬく森の郷指定管理料（株式会社ぬく森の郷）	０円
桜ヶ池クアガーデンAED購入	４４万円

財源

起債	550 万円
その他（温泉使用料）	241 万円
市の負担額	5,725 万円

桜ヶ池クアガーデン男女脱衣室床改修工事	１００万円
同上エレベーターロープ取替工事	６７万円
ぬく森の郷受付・レストラン空調機器更新工事	４５０万円
同上排水ポンプアップ水槽修繕工事	８１万円
天竺温泉源泉ポンプ・ケーブル等入替工事	５８０万円
同上渡り廊下屋根修繕工事	８２万円
同上大広間宴会場畳入替修繕料	４４万円
福光温泉源泉光熱水費負担金	４０万円

桜ヶ池クアガーデン

天竺温泉

たいらクロスカントリー場管理費　2,956 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、クロスカントリーコース、管理棟、クラブハウス等の施設を有するたいらクロスカントリー場の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、通常の運営・維持・管理に加え、平成２５年２月２日より６日にかけて開催予定の全国中学校体育大会に向け、既存コースの改修修繕や緊急時避難路設置に係る測量設計と工事、降雪により支障となる立木枝伐採など、コース及び大会会場の運営・管理も行います。

主な経費

既存コース改修修繕及び緊急時避難路設置等測量設計業務委託	１７６万円
たいらクロスカントリー場指定管理料（株式会社長田組）	３５０万円
全国中学校体育大会会場運営委託	３９０万円
緊急時避難路開設工事	４９０万円
コースブロック積幅員拡幅工事	４９５万円
分岐コース幅員拡幅工事	３５５万円
コース切土幅員拡幅工事	５９万円
山留フトン篭工事	６４１万円

たいらクロスカントリー大会

財源

起債	2,090 万円
市の負担額	866 万円

ささら館管理費　793 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、上平自然環境活用センター「ささら館」の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、排煙オペレーター修繕、プロパン庫地盤沈下修繕及びパッケージ型消火設備改修設置工事を行います。

主な経費

ささら館指定管理料（上平観光開発株式会社）	５６５万円
排煙オペレーター修繕料	３２万円
プロパン庫地盤沈下修繕工事	１３２万円
パッケージ型消火設備改修設置工事	６４万円

道の駅上平「ささら館」

合掌の里管理費　2,772 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、五箇山合掌の里の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、合掌コテージ２棟の屋根軒雪害修繕工事及び合掌宿泊施設の避難梯子等設置工事などを行います。

主な経費

合掌の里指定管理料（財団法人五箇山合掌の里）	2,０００万円
新田家屋根軒雪害修繕工事	４１０万円
松与門家屋根軒雪害修繕工事	２７０万円
合掌宿泊施設避難梯子等設置工事	４５万円
生活館前工作物等解体整理工事	４７万円

五箇山合掌の里

財源

その他（建物災害共済金）	680 万円
市の負担額	2,092 万円

桂湖施設管理費　1,349 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、桂湖レクリエーション施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、ボート艇庫転落防止柵改修工事及びオートキャンプ場トイレ自動感知器修繕を行います。

主な経費

桂湖施設指定管理料（上平観光開発株式会社）	1,２００万円
オートキャンプ場トイレ自動感知器修繕料	３２万円
ボート艇庫転落防止柵改修工事	１１７万円

桂　湖

財源

その他（基金繰入金など）	506 万円
市の負担額	843 万円

イオックスアローザ交流施設管理費　1,408 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、オートキャンプ場、レストランワイスホルン、資料館、体験交流センター、ふれあいセンター、白兀展望塔のイオックスアローザ交流施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、オートキャンプ場トレーラー屋根及び内装修繕工事、体験交流センター外壁塗装等工事、白兀展望塔太陽光電源システム更新工事などを行います。

主な経費

イオックスアローザ交流施設指定管理料（医王アローザ株式会社）	６２０万円
医王山東屋休憩施設屋根修繕料	１１万円
オートキャンプ場トレーラー屋根及び内装修繕工事	３４０万円
体験交流センター外壁塗装等工事	２０７万円
白兀展望塔太陽光電源システム更新工事	２３０万円

財源

その他（土地貸付料など）	115 万円
市の負担額	1,293 万円

道の駅いなみ木彫りの里振興費　3,878 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

国、県、市と民間企業等が出資して設立された第３セクター株式会社井波木彫りの里が所有する物産展示・販売ホール、レストラン、浴場、体験彫刻・多目的創作工房、イベントホール、観光情報コーナー等からなる創遊館及び木彫り技術者の創作・製造の場である匠工房施設の円滑な運営のための振興支援を行っています。

主な経費

施設土地賃借料	４６６万円
施設建設借入金元利償還補助金	４０８万円
施設運営支援補助金	2,８34万円
施設修繕工事補助金	１７０万円

井波彫刻

道の駅井波「いなみ木彫りの里」

財源

その他（返済金）	500 万円
市の負担額	3,378 万円

イオックスヴァルト管理費　369 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、４人用コテージ８棟、６人用コテージ７棟、２０人用コテージ１棟、バーベキューハウス、管理棟等からなるイオックスヴァルトの運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、４人用コテージ４棟のボイラー・油タンク及び基礎更新工事、６人用コテージ５棟の油タンク及び基礎更新工事を行います。

主な経費

イオックスヴァルト指定管理料 （イオックスヴァルト企業組合）	０円
４人用コテージボイラー・ 油タンク及び基礎更新工事	２７０万円
６人用コテージ 油タンク及び基礎更新工事	９９万円

コテージ

国見公園管理費　408 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市と金沢市の県境に位置し、砺波野散居村の風景が望める医王山に国見公園があり、国見ヒュッテ、コテージ２棟、バーベキュー棟、キャンプ場、トイレ、展望東屋等の施設が点在し、その運営・維持・管理を行っています。

平成２４年度は、キャンプ場炊事場・トイレ・看板等解体整理工事、バーベキュー棟屋根等修繕工事を行います。

主な経費

国見公園内施設管理委託料	１５５万円
光熱水費等施設管理経費	８０万円
キャンプ場炊事場・トイレ・ 看板等解体整理工事	９７万円
バーベキュー棟屋根等修繕工事	７６万円

コテージ

国見公園

財源

その他（施設使用料）	10 万円
市の負担額	398 万円

その他施設管理費　282 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市内の観光に関連する施設、公衆トイレ６箇所、駐車場２箇所、案内看板７箇所、モニュメント等の維持・管理を行っています。

主な経費

光熱水費・修繕料等施設管理経費	１４９万円
施設清掃委託	１０２万円
土地賃借料	３１万円

丸山展望台

上梨公衆トイレ

財源

その他（販売機設置料）	3 万円
市の負担額	279 万円

道の駅福光「なんと一福茶屋」管理費　860 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、道の駅福光「なんと一福茶屋」及び、福光紹興友好物産館の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

主な経費

道の駅福光「なんと一福茶屋」
指定管理料　８６０万円
（道の駅福光株式会社）

道の駅福光「なんと一福茶屋」

五箇山和紙の里管理費　1,450 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

国道１５６号線平地域東中江地内に複合施設道の駅たいら「五箇山和紙の里」があり、道の駅情報交流センター、展示・販売コーナー和紙の里、五箇山特産品販売物産館、公衆トイレ、たいら郷土館、たいらビジターハウス「おたに荘」、たいらマウンテンスクール等からなる施設の運営・維持・管理を行っています。

平成２４年度は、郷土館入口階段踊り場舗装修繕工事を行います。

主な経費

施設運営管理費	９１０万円
郷土館入口階段踊り場舗装修繕工事	４０万円
施設清掃・設備保守点検等委託	１１６万円
光熱水費・消耗品等施設管理経費	３３１万円
観光協会等負担金	５３万円

道の駅たいら

紙すき体験

財源

その他（施設使用料など）	250 万円
市の負担額	1,200 万円

みどりの一里塚施設管理費　78 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、いっぷく茶屋、東屋、公衆トイレ等の施設を有する利賀みどりの一里塚サービスステーションの運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

主な経費

みどりの一里塚サービス
ステーション指定管理料　７８万円
（道の駅利賀「いっぷく茶屋」）

道の駅利賀「いっぷく茶屋」

赤祖父レイクサイド管理費　627 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、赤祖父公園、パットゴルフ場、テニスコート、展望台、湖畔あかそぶ、バーベキュー場等の施設を有する赤祖父レイクサイドパークの運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、施設の安全性向上のため、湖畔あかそぶ前広場階段法面・排水管修繕工事を行います。

主な経費

赤祖父レイクサイド指定管理料（トナミグリーン株式会社）	５10万円
土地賃借料	３万円
湖畔あかそぶ前広場 階段法面・排水管修繕工事	１１４万円

赤祖父公園

赤祖父湖

利賀観光施設管理費　3,056 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、そばの郷、瞑想の郷、国際キャンプ場等の利賀観光施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、国際キャンプ場管理棟屋根修繕工事、飛翔の郷建物施設解体整理工事などを行います。

主な経費

そばの郷そばの館入口改修修繕料	３７万円
利賀観光施設指定管理料 （財団法人利賀ふるさと財団）	１,７７０万円
利賀国際キャンプ場 管理棟屋根修繕工事	２５０万円
飛翔の郷建物施設解体整理工事	２５０万円
武蔵野館明り窓外壁雨漏修繕工事	６４万円
財団派遣職員給与等負担分補助金	６８５万円

国際キャンプ場

財源

その他（施設使用料）	1 万円
市の負担額	3,055 万円

アミュー広場管理費　130 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

福野地域寺家新屋敷地内に催し物等の開催場所及び市民の憩いとふれあいの場所として整備されたアミュー広場があり、清掃や樹木剪定、外灯等施設の維持・管理を行っています。

主な経費

光熱水費・修繕料等広場管理経費	２７万円
広場清掃委託	２２万円
広場樹木剪定・伐根処理委託	６７万円
消雪装置維持管理業務委託	１４万円

アミュー広場

民謡の里管理費　180 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、合掌造り家屋３棟、公園、東屋、公衆トイレ、水車小屋等の施設を有する民謡の里の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

主な経費

民謡の里指定管理料 （小原地区振興会）	１８０万円

民謡の里

国民宿舎管理費　1,970 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、国民宿舎「五箇山荘」の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、男女浴場濾過機入替、露天風呂ボイラー入替、男女浴室修繕、浴室天井修繕工事及びエレベーター制御用機器等交換工事を行います。

主な経費

国民宿舎「五箇山荘」指定管理料 （株式会社長田組）	０円
男女浴場濾過機入替工事	７３０万円
露天風呂ボイラー入替工事	６４０万円
男女浴室修繕工事	２９０万円
浴室天井修繕工事	２５０万円
エレベーター制御用機器等交換工事	６０万円

国民宿舎「五箇山荘」

財源

起債	1,290 万円
市の負担額	680 万円